

第3回市民ワークショップの結果（令和元年12月11日）

【基本構想素案の説明】

コンセプト

賑わいと魅力を生むまちの
居場所

基本的な
方向性

日々の生活に潤いを
与える市民のため
の“居場所づくり”

まちなかを訪れる
“賑わいづくり”

人々を呼び込む
“まちの魅力づくり”

 **素案に対する質疑はなく、参加者の皆様より確認を頂きました。**

【その他質疑応答】

内容	詳細
基本構想素案に係るパブリックコメントの方法について(質問・意見)	<p>Q1.パブリックコメントについて、どのようなものをどのような方法で公開し、どのようなコメントを募集するのでしょうか。ワークショップの参加者として、他の市民の方より一生懸命考えてきたため、それが全く無視されたカタチでまたゼロから考える…というのは残念です。</p> <p>A1.今回は、基本構想に盛り込むべき内容を概要としてお伝えしました。これを基に、冊子型の構想案にして公開します。コメント募集としては、ホームページで公開し、市内各施設の所定の場所に設置し、良い点、悪い点も含めて募集を行うものです。</p> <p>Q2.提案ですが、パブリックコメントにおいて冊子を設置しても、冊子を手にしなかったり、ホームページ自体見ない人もいます。地域交流センターゆう等で単独のイベント開催、もしくは、2月にイベントがもしあれば、人が集まる場所において意見を募集していません、と呼び掛けてみてはいかがでしょうか。</p> <p>A2.検討します。</p>
基本構想素案の周知方法について(意見)	<p>Q.基本構想案を広報すながわの冊子に挟んだり、ちょっとしたまとめも含めて周知して頂けると嬉しいです。</p> <p>A.広く市民に知って頂けることは、当然しなければいけないので、検討します。</p>
建物の施設規模が決まるタイミングについて(質問)	<p>Q.建物の中にどういう風におさまるかがポイントだと思います。そのあたりは、ここ数年で行われますか？</p> <p>A.次年度の基本計画策定の中では、おおよその施設規模を想定したいところです。配置に関しては次の設計になるかと思います。</p>
参加者の今後の関わりについて(意見)	<p>Q.この後も私たちは関わりを続けられませんか？せめて計画策定ぐらいまでは集まったり見届けさせてくれないか。</p> <p>A.むしろ、今後の基本計画策定の中でも皆さんに何かしらの形で関わりが続けられればと思っていました。今後、連絡がいった際は、参加頂けると幸いです。</p>

【その他質疑応答】 続き

内容	詳細
トライアル・アンド・エラーの取組について(質問)	<p>Q. 今回の構想からかなり月日が経ってから完成とのことでした。今回のコンセプトは良いが、完成時には人口減少も進んでいるでしょうし、トライアル&エラーを繰り返す作業は必要だと考えます。コワーキングスペースも、将来的にニーズがあるかどうかはわかりません。そういった、試す作業はできるのでしょうか。</p> <p>A. 完成を目指す概ね5年後、この機能がそのまま入れれば良いのか、という正直どうなるかわかりません。そういった点で、トライアル・アンド・エラーを繰り返す視点は大事であると考えます。今後どのような手法で行うかは不透明な所もありますが、そういったご意見があったことは受け止めたいと思います。</p>
建設主体、管理運営主体について(質問)	<p>Q. 現状今は公的な事業として行っていますが、建物の建設や実際の運営となると、最終的には民間と公的のどちらになるとお考えでしょうか。</p> <p>A. 今の段階でも公設公営～民設民営まで色々な手法を模索しております。どのような手法で建設し、管理運営を行うかについては、次年度決めていければと考えています。</p>
参考事例について(質問)	<p>Q. こういったまちおこしの事業において、他市町村でうまくいっている事例をご存知であれば教えて頂きたいです。</p> <p>A. 個人的には、岩手県紫波町のオガール紫波かと思えます。市民ニーズを汲み取り、補助金に依存せず金融機関から資金調達して事業性をしっかり磨いたうえで行った事業で、持続可能な賑わいに結びついた事例であると解釈しています。当市にも活かせるものがないか研究中です。</p>
提言書の取扱いについて(質問)	<p>Q. 一般的には、市民の意見よりも商工会議所の提言書等の地位が高い方が作成したものが実現されやすいと思うのですが。</p> <p>A. 提言書は、市民アンケートと同様に並列で扱い、基本構想に盛り込む内容に含めました。フラットに考えております。</p>
将来的に最後を考えた建物に(意見)	<p>Q. 建物を建てるにあたって、今が良ければ良いという建物ではなく、将来的に最後を考えた建物にしてほしいです。立派な躯体は、最後の解体時に多額の費用がかかります。例えば、木造を使うとか、そういった意見も盛り込んで頂ければなあと思えます。</p> <p>A. まだ、どのような造かは決まっておりませんが、『持続可能に』という点で想いは一緒かと思えます。施設整備についても、持続可能に、一過性ではなく、長期の視野にたって状況変化を見据える形でやっていかなければいけないと考えます。</p>

【感想】 ～抜粋～

※感想時の発言を拾い上げている為、複数内容を発言した方もそれぞれ1名ずつカウントしていることから、件数合算は18名となりません。

内容	件数(18名)
今後も機会があれば参加したい又は自分なりに関わりたい。	10名
自分も楽しみ、ワクワクする。みんなが将来ワクワクするように今後進めていけば良い。	8名
高校生はじめ、幅広い世代の意見をちゃんと拾い上げてくれた	3名
建物の継続性に関すること	2名

【感想】～実際の声を抜粋～

・今後市民の意見は聞いたぞ、あとは市で好き勝手やるんで、とあまり信用していなかった。しかし、機会あれば皆さんにお声がけするので、という話を聞いて、この街に移住して良かったと思うのが正直な気持ち。砂川をできるだけ良い街にしたいという想いがあります。今後も役に立てば積極的に参加したいです。

・4～5年後ニーズはあるのか、試す期間はあるのか、すぐ転換できるかが重要だと考えます。

・近隣自治体からの意見聴取も行ってみたいとはいかがでしょうか。

・高校生の意見もしっかり拾い上げてくれました。

・砂川市が好きなので自分の街がどうなっていくかももう一度考えるのに良かったです。みんなが将来ワクワクするイメージで進めていければ良いですね。今後も関わらせて頂けるとのことで嬉しいです。

・自分自身、まちづくりに興味があったので面白かったです。

・こういうものができたらいいな、とワクワクします。これからも関わりたいです。

・普段思っていた事が発言でき、それが取り入れられていて、とても嬉しく思います。

・自分自身もすごく勉強になりました。自分もワクワクする建物ができたら良いと思います。

・こういう場は自分にとってチャンスだと思いました。楽しみに、ワクワクして見守るし、こういったことでお声がけ頂ければまた参加したいと思います。

・高校生ですが、大人の方と意見を交流する中でこのような考えがあるんだという色々な刺激をもらうことができました。これからも関わりがあったなら、ぜひ参加したいなと思います。

・素晴らしく、うまくまとまっていてイメージが盛り込まれていました。是非広報で大きく載せてみては？と思いました。また何か関わることがあればぜひお声がけして頂ければと思います。

・実際はこれからのことだと思うので、自分なりに考えて今後も深く関わっていききたいと思います。

・この先、砂川にずっと住み続けていくので、見つめていきたいです。今後も関わらせて頂くことができれば、この建物が砂川にとって、たくさんの市民の方にとって良い建物ができたらね、となれば良いですね。

・完成までモチベーションの維持が難しいですが、建設後も長く継続的に続けられる建物になれば良いと思います。

・参加する前は堅いイメージがあったが、参加するにつれて考えるのが楽しくなりました。完成が5年後位ですが待ち遠しいです。

・新しく建てるのも大事ですが、既存のものを有効利用するのも大事です。今後も砂川をPRする活動は続けたいと思います。

・高校生の意見もよく聞いてくれて、幅広い世代の意見も聴いて良かったです。